

冬季に流行する感染症と その対策

～インフルエンザを中心に～

開催日時 平成31年 **2月8日(金)**
18時～20時15分

開催場所 京都大学医学部附属病院
第一臨床講堂

対 象 院内職員、研修医、医療系学生、大学院生
京都府で地域医療に関わっている
医療従事者誰でも

定 員 先着200名 (事前申込み不要)

プログラム

- 開会の辞
松田 秀一(京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター長)
- はじめに
京都府地域医療支援センター京都大学ブランチの設立趣旨説明
山岸 久一(KMCC京都府地域医療支援センター長、京都府参与)
- 総司会
長尾 美紀(京都大学医学部附属病院 感染制御部 准教授)
- 特別講演
「適正なインフルエンザ診療について考える」
清水 恒広(京都市立病院 感染症内科部長)
「地域における感染対策推進への取り組み」
藤田 明子(大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部主査 感染管理認定看護師)
- 質疑応答、意見交換
- 閉会の辞
伊藤 和史(京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター 特定教授)

講演概要

京都府地域医療支援センター(KMCC) 京都大学ブランチ

冬季にはさまざまな感染症が流行します。なかでもインフルエンザなどの呼吸器感染症は、われわれ医療者が最も診療する機会が多い疾患のひとつです。近年、インフルエンザ抗原検査をはじめとする Point Of Care Testing (POCT) が普及し、本邦で利用できる抗インフルエンザ薬の種類も増えました。その一方で、毎年、市中流行性感染症の院内感染の報告が相次いでおり、患者や職員、その家族を守るためにも、全病院的・地域的な感染対策の取り組みが重要とされています。

そこで、今回はインフルエンザをはじめとした冬季の感染症の診断と治療に関する実際と最新のエビデンスを京都市立病院 感染症内科 / 小児科部長 清水恒広先生にご講演いただきます。また、大阪市立大学医学部附属病院 感染制御部 感染管理認定看護師藤田明子先生より、流行性感染症の感染対策のポイントと、大阪市立大学病院がこのたび新たにスタートされました、行政と医療施設の連携による地域での感染対策の取り組みについてご紹介いただきます。

お問い合わせ先



京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター

E-mail : sokenkmcc@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp TEL : 075-751-4839



京阪電車 神宮丸太町駅から徒歩 10 分

京都市バス 近衛通バス停から徒歩 2 分

京都に
緑の
ある医師
との絆
ネット

<http://www.pref.kyoto.jp/drkyoto/>

京都に緑のある医師・医学生の皆さんを対象に、キャリアプランをはじめとした京都の医療情報を提供するホームページです。

京都 医師 絆ネット

検索

..... メール会員も募集中です。

E-mail : iryo@pref.kyoto.lg.jp

(京都府健康福祉部医療課)